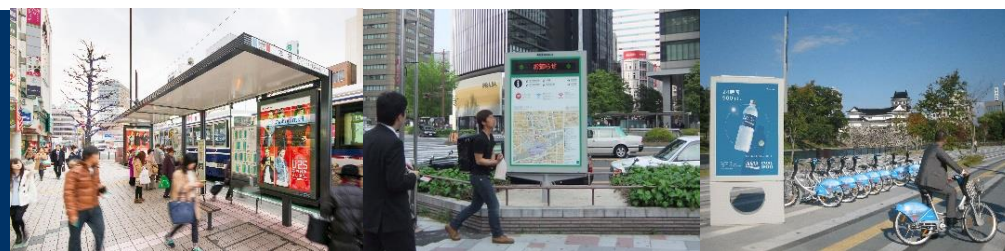


モーダルコネクト検討会資料

エムシードウコー株式会社

2016.06.15



- **エムシードウコー(株)事業の先進事例**
 - 広告付きバス停留所上屋事業の取り組み
 - サイクルシェア事業の取り組み
- **ストリートファニチャ事業**
- **現状と課題**



整備前



整備後



広告付きバス停留所上屋事業

- 上屋に添加した広告板から得られる広告料収入を原資として、バス停留所上屋の製造、設置、その後の清掃メンテナンス、維持管理までを行う事業。
- 原則として、自治体やバス事業者、バス利用者の負担はゼロ。広告を活用したPFI/PPP事業の1つ。
- 平成15年国道利第22号通達により整備可能に。



	バス事業のメリット		行政一般のメリット	
	バス利用者	バス事業者	一般市民	自治体
利便性 快適性	<ul style="list-style-type: none"> ● 風雨からの保護、ベンチなどの設備拡充 ● 運行案内等バス利用者に必要な情報の提供 ● 清潔・快適な環境 			
景観 美観		<ul style="list-style-type: none"> ● シェルターのデザイン・モデルの統一 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市景観・美観の維持向上 ● 屋外広告の新しいモデルの提示 ● 観光誘致への寄与 	
経済的 メリット		<ul style="list-style-type: none"> ● シェルターの整備、維持が無償で実現 		<ul style="list-style-type: none"> ● 広報媒体としての利用 ● 地域の雇用機会の創出
防災 防犯	<ul style="list-style-type: none"> ● バス利用者の安心度向上 		<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間照明による防犯効果 ● 防災、防犯間での情報提供 	

事業の仕組みとメリット

- 上屋の整備・維持管理にかかる業務は全て当社が担当(上屋の製造、関係許可取得から、清掃メンテナンス、広告営業活動まで)
- バス利用者のメリット: 清潔で快適なバス待ち環境
- バス事業者のメリット: 上屋の整備維持管理にかかる負担が軽減され、バス運行に注力可能
- 自治体のメリット: 定期的な清掃メンテナンスによる、都市景観・美観の向上、夜間照明による防犯効果
- 広告主のメリット: 公道上で目線の高さで、市民とコミュニケーションできる

基本的な機能



仙台市

上屋照明

停留所名称板

添加広告板

風防ガラス(強化ガラス)

時刻表スペース
* 時刻表中身はバス事業者が管理

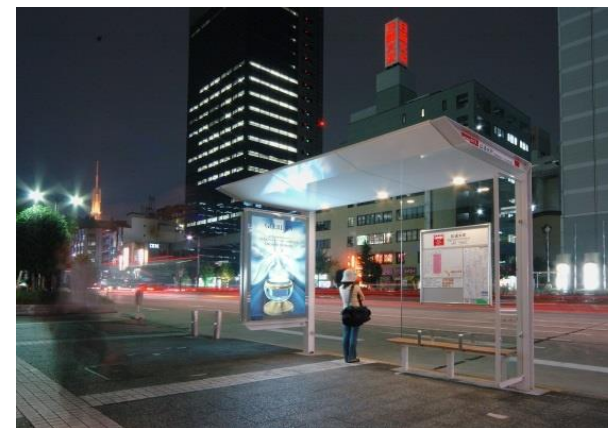
ベンチ



東京都



横浜市



名古屋市



京都市



札幌市



大阪市

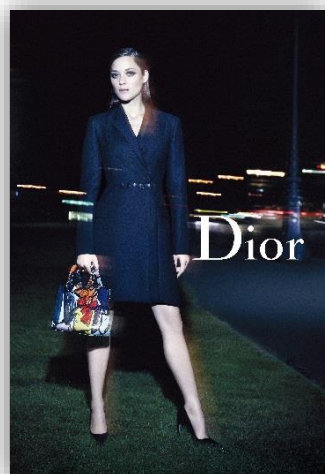
各都市の上屋

- それぞれの都市の景観にあったデザインの上屋を提案。



- **清掃 月2回／2週に1度**
 - 本体上部下部、ガラス面、フレーム、パネル、周辺清掃
- **巡回 週1回**
 - 目視による外観チェック。ゴミ屑など美観を損なう箇所があれば除去
- **出勤 2営業日以内**
 - ビラ、落書き等は、2営業日以内に除去。悪質な落書き等については、速やかに除去
- **修繕 5営業日以内**
 - 破損、故障又は損傷は速やかに養生し、5営業日以内に修繕

50年に及ぶ事業経験で培った清掃、メンテナンス・維持管理のノウハウと技術



SUNTORY



TOYOTA

NIVEA



ANA

NTT docomo

SHISEIDO



SoftBank



au by KDDI

Tokyo Disneyland



L'ORÉAL®

LVMH
MOÛT HENNESSY LOUIS VUITTON

KIRIN

- 広告ポスターは2週間ごとに交換・掲出
- 全国の広告面をネットワーク化し、事業実施中の都市には原則として全て同じ広告を掲出
- 厳正な広告審査を通過した上質なデザインの広告

都市景観の向上に貢献する美しいデザインの広告を掲出



バスロケーションシステム(福岡市 他)



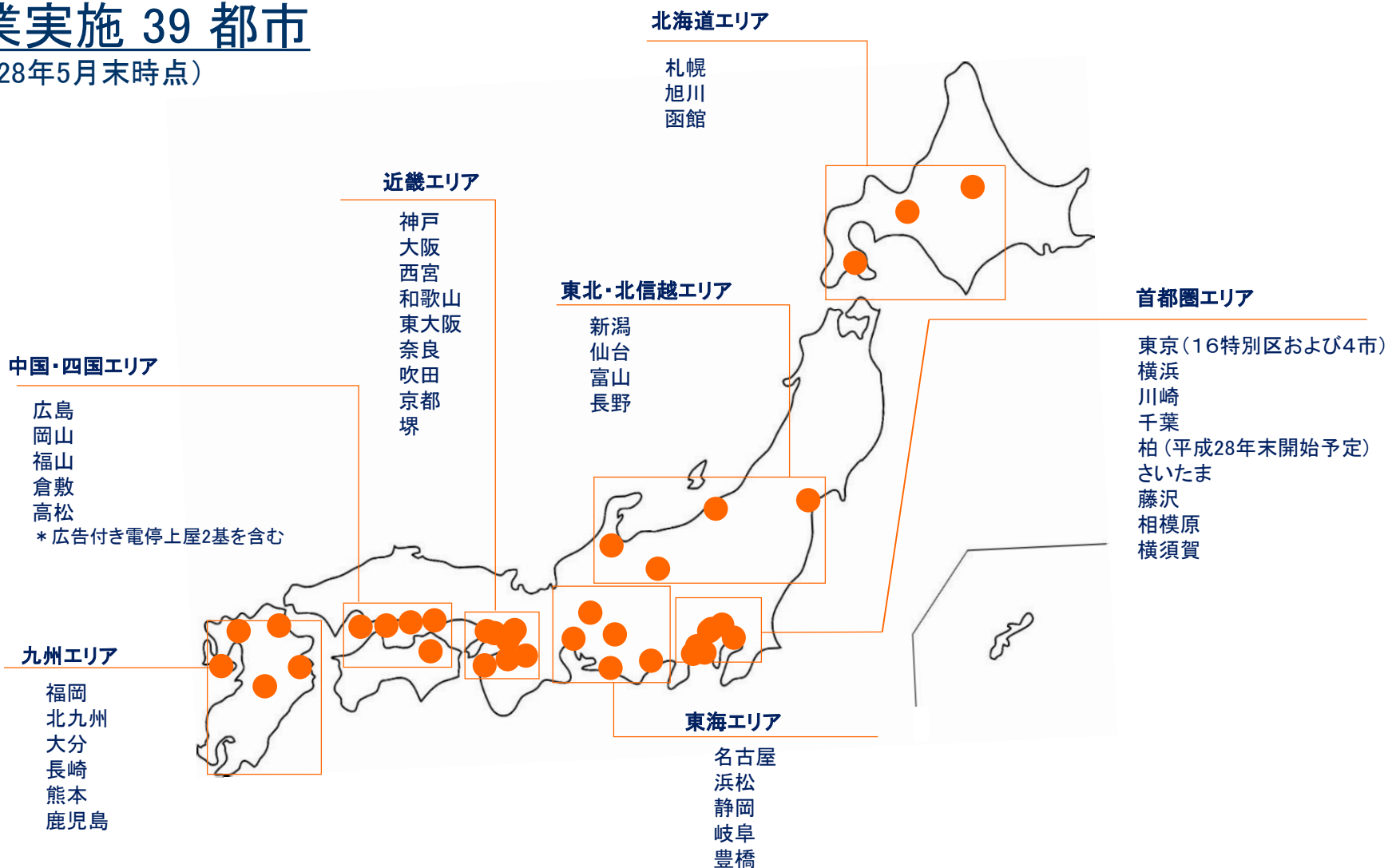
無料Wi-Fiサービス(京都市 他)

付加機能の搭載

- バスロケーションシステムや無料Wi-Fiサービスなど、待合環境を向上させる付加機能を搭載
- その他、防犯カメラ、デジタルサイネージなど、搭載することも可能

事業実施 39 都市

(平成28年5月末時点)



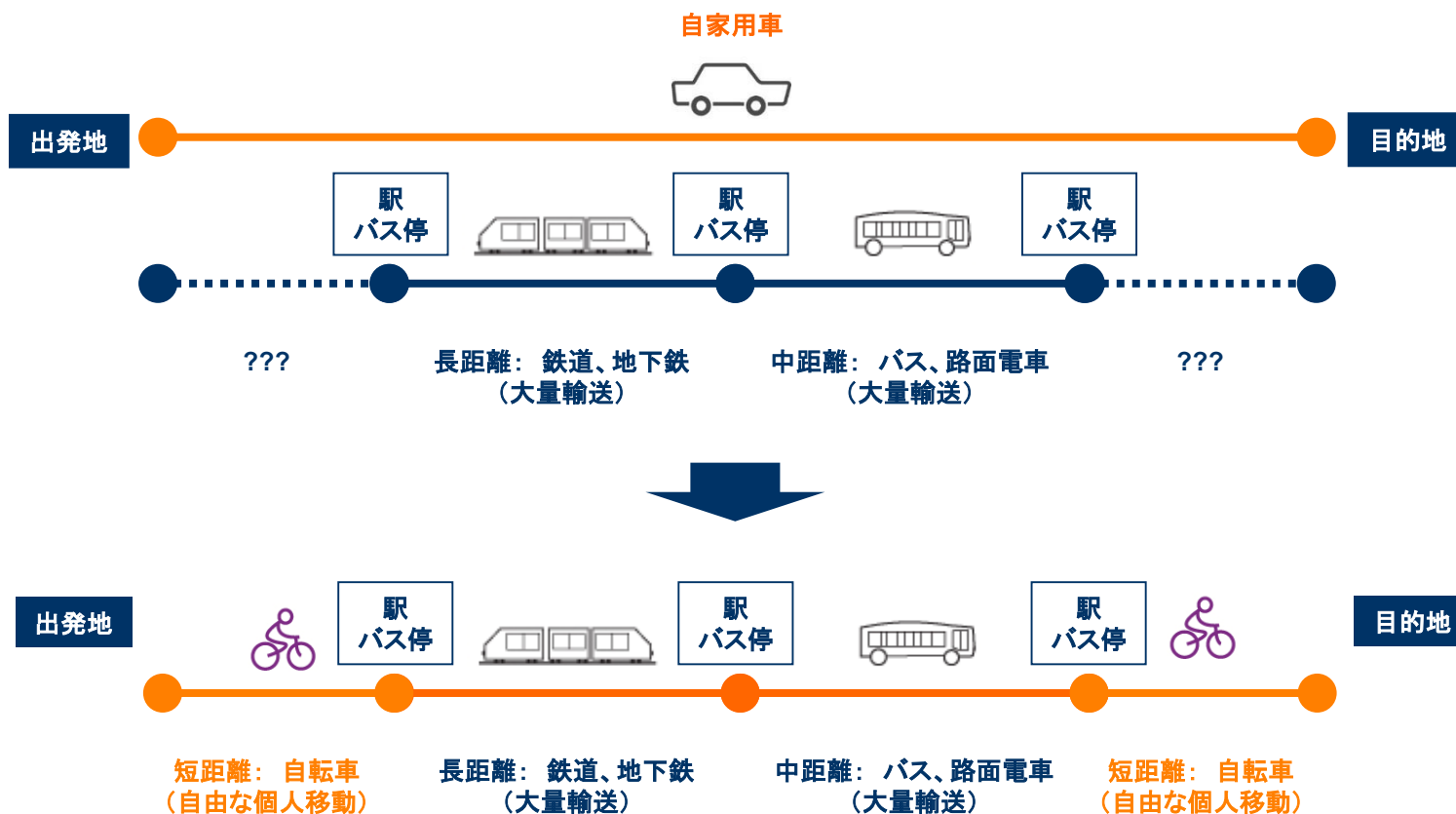


シクロシティ®富山

- 任意のステーションで自転車をレンタルし、また任意のステーションに返却できる公共交通サービス
- 平成22年3月富山市で、日本初となる本格導入事業を開始
- 導入背景： 過度な自動車利用による中心市街地の空洞化と二酸化炭素排出量の増加
- 導入目的： 既存の公共交通を補完し、利便性を高め、中心市街地の活性化や回遊性を強化
- 富山市は、環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を実践

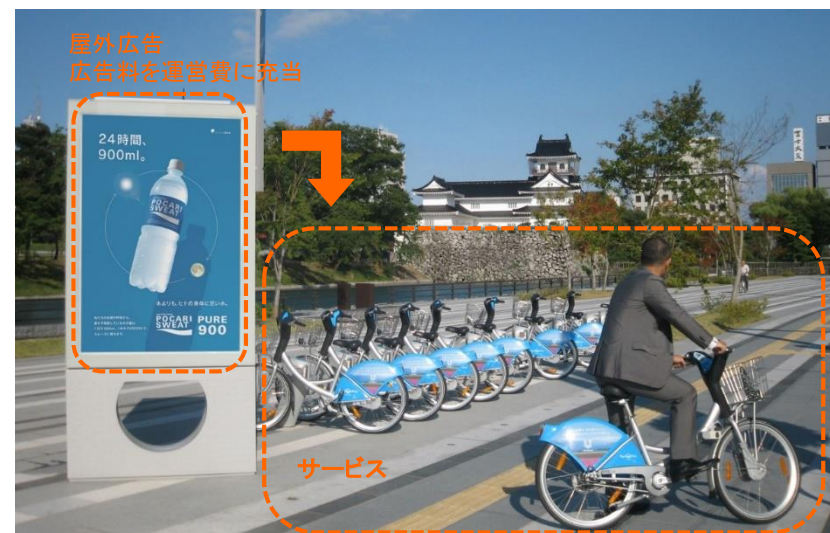
既存の公共交通を補完し、中心部の活性化や回遊性を強化

- 出発地点から交通拠点まで、そして交通拠点から目的地までの“ラストワンマイル”のための移動手段
- 公共交通を補完し、自家用車に負けない利便性を構築する



シクロシティ®富山（平成28年5月末時点）

- ステーション： 20カ所（平成22年事業開始時は15カ所）
- 自転車台数： 200台（平成22年事業開始時は150台）
- 市政情報パネル： 50基（平成22年事業開始時は30基）
- 累計登録件数： 8,377件
- 累計利用回数： 302,121回
- 1日あたり利用回数： 20～400回
- 運営維持管理
 - 自転車の清掃メンテナンス
 - ステーション間の自転車の台数調整
 - コールセンター対応
 - ウェブサイト、スマホアプリ等の運営 他
- 料金収入（利用料、登録料等）では運営できないため、広告事業等の副次収益事業が必要
- ジェードウコーグループは世界70都市で、ステーション約4,300カ所、自転車52,000台を運営



シクロシティ富山の転換率

(登録者へのアンケート調査:シクロシティを利用する前は、何を利用していたか)

シクロシティが無ければ、移動していない

8%

自動車

9%

タクシー

1%

路面電車

9%

バス

5%

自転車

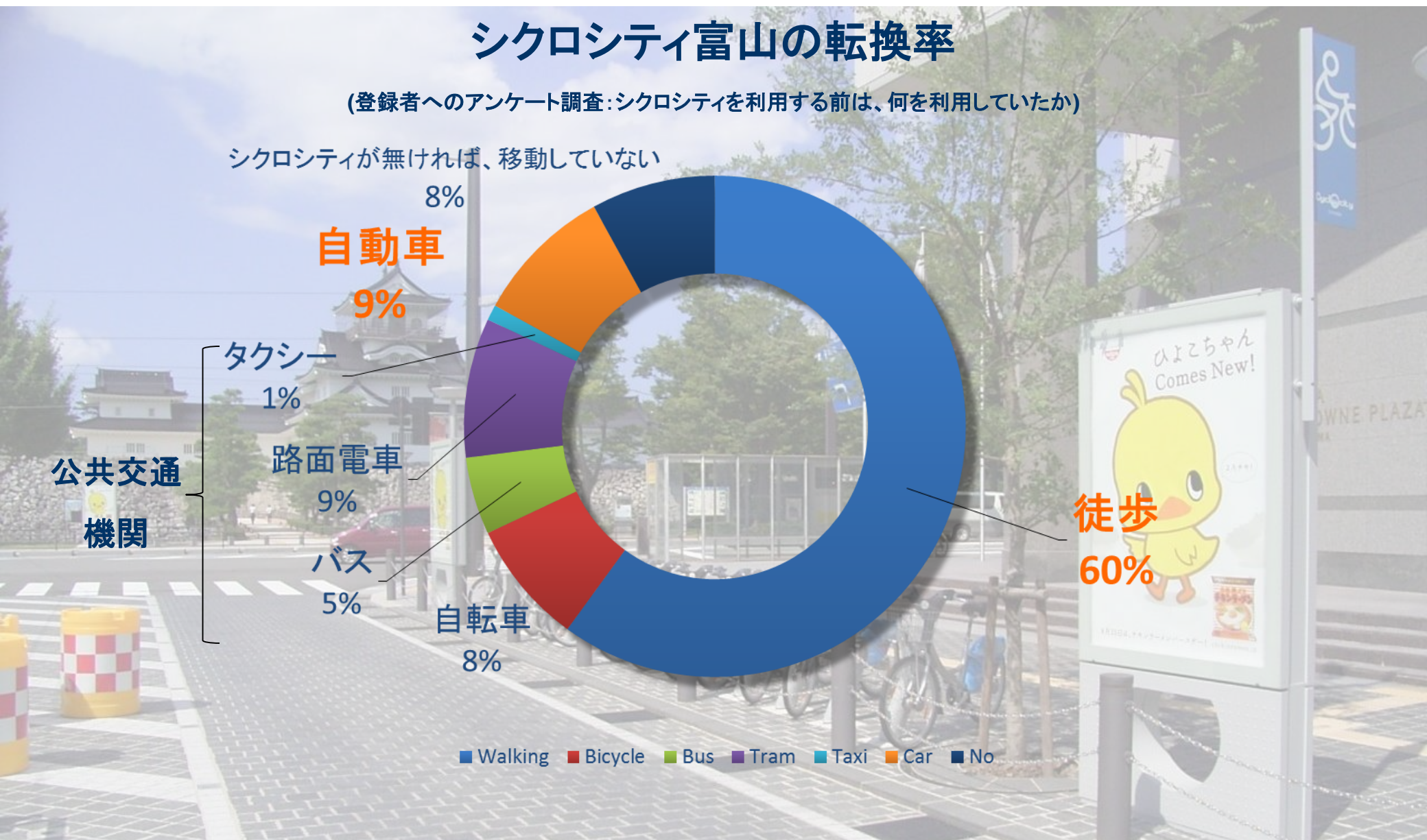
8%

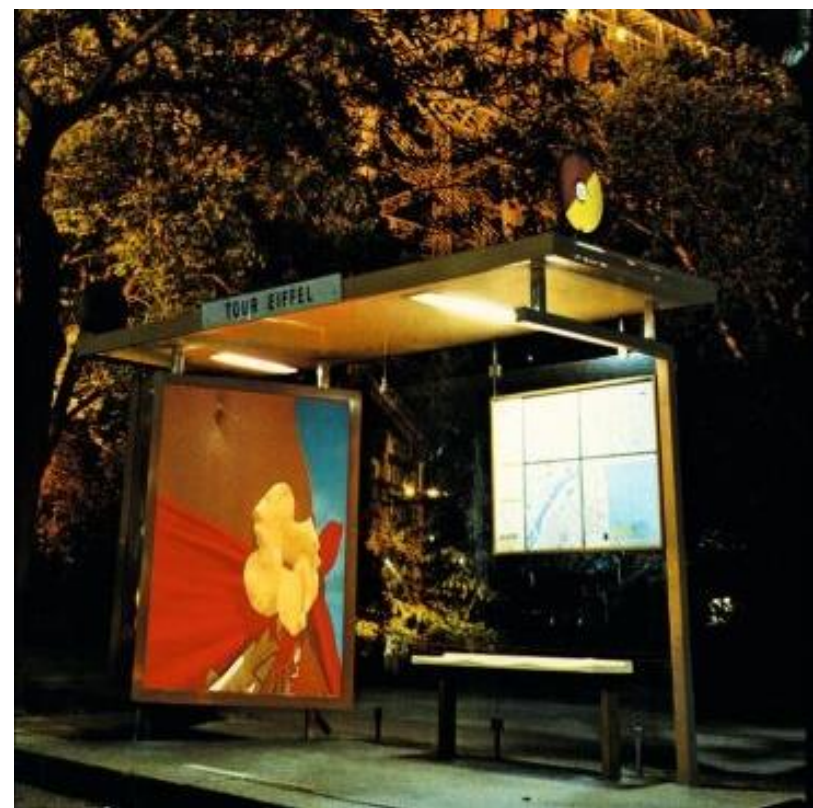
徒歩

60%

公共交通
機関

Walking Bicycle Bus Tram Taxi Car No





整備前



整備後

広告付きバス停留所上屋：海外の事例

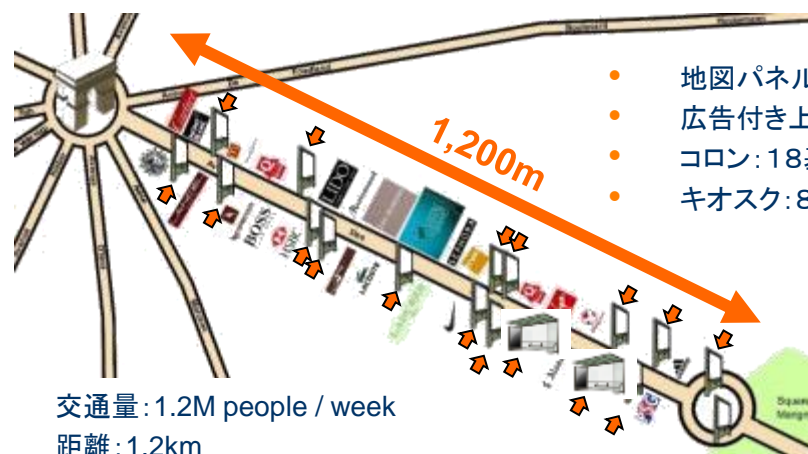
- 親会社である仏ジェーシードウコーが、1964年リヨン市に、世界初となる広告付きバス停留所上屋を設置
- 以後、全世界に拡大し、現在75カ国4,435都市で事業を実施、世界最大の屋外広告会社
- 広告付きバス停留所上屋は、世界主要都市に12万基以上設置



ストリートファニチャ事業

- 広告料収入を原資として、自治体や市民の負担無しに、道路上のインフラや交通サービスを提供するPPP*/PFI事業

*PPP: Public Private Partnership パブリック・プライベート・パートナーシップ 官民連携



統一されたデザインの花ニチャと行き届いた清掃
維持管理により格調高い街路空間を演出

オーストラリア出身の建築家
フィリップ・コックス



ストリートファニチャ: After



ゴミ箱 499基* (679基)	ベンチ 164基* (216基)	広告付き公衆電話パネル 102基* (155基)	広告付きバス停留所上屋 122基* (320基)	キオスク 55基* (56基)
------------------------	------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------

既存施設: Before

バス停



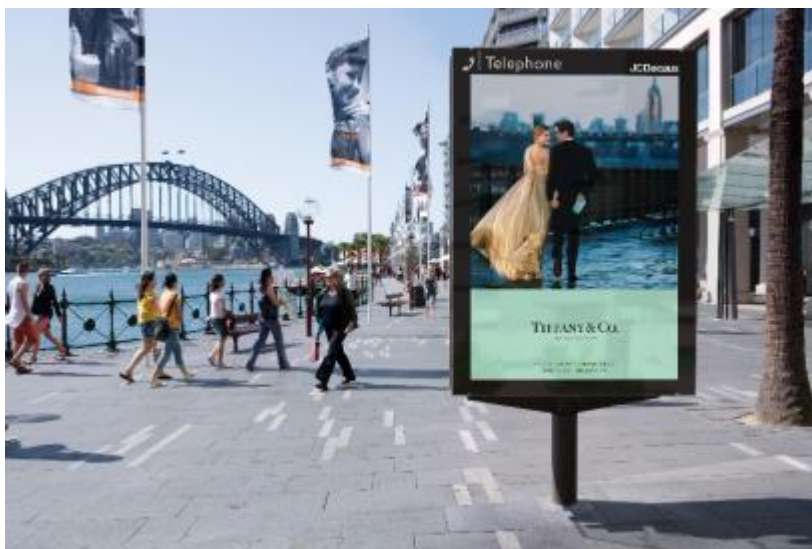
キオスク



- シドニー市は、2000年の五輪開催にあたり、1998年にストリートファニチャ事業を導入し、五輪の受入環境を整え大会を成功に導いた
- 導入前の施設は、類似施設が乱立し、デザインバラバラで、清掃メンテナンスも不十分だった
- シドニー市は、一切の費用負担無しに、300基以上のバス停、50基以上のキオスク等を統一のデザインで整備更新し、現在も運営維持管理の費用を負担することなく、レガシーを維持している。
- 1999年の市民を対象とした世論調査では、対象者の76%以上がストリートファニチャを「魅力的で好ましい」と回答



広告付きバス停



パネル: 広告面側



パネル: 公衆電話側



キオスク: 新聞雑誌



キオスク: 花屋



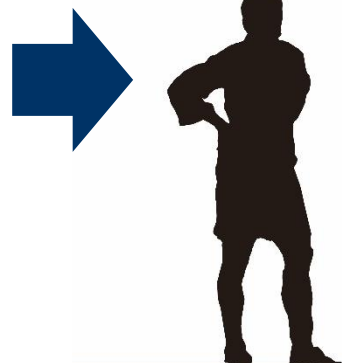
スマートパネル(広告付き多機能型案内板)

- スマートパネルとは、自治体や市民のニーズに合わせて公共サービス機能を選択し、アプリとして搭載することができる、広告付きの多機能型案内板プラットフォーム
- 原則として、1面に公共サービス機能を搭載し、1面に広告を掲出する
- 広告料収入を原資に、パネル及び公共サービス機能の開発製造から設置、その後の清掃、運営維持管理までを行う



公共サービス機能
アプリケーション

自由に選択
して搭載



機能側

広告料収入
を充当



広告側

各都市の設置事例

富山市 市政情報パネル 50基
防犯カメラ、市政情報、地図



鹿児島市 公共掲示板 75基



名古屋市 歩行者案内サイン 2基
(実証実験)

地図、防災ラジオ、フリーWi-Fi、LED情報表示



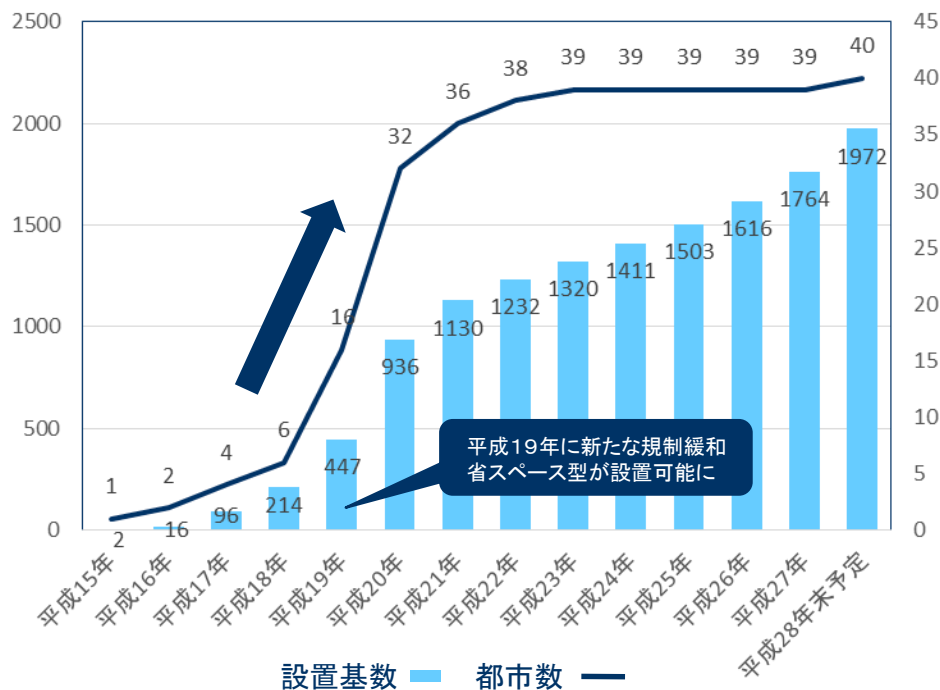
防犯カメラ機能付



以前の公共掲示板



以前の歩行者案内サイン



省スペース型(広島市)

広告付きバス停留所上屋の現状と課題

- 平成15年岡山市より事業を開始し、平成16年横浜市、平成17年名古屋市、神戸市、平成18年広島市、福岡市と拡大
- 平成19年通達によって「省スペース型」の整備が可能となり、都市数、上屋数ともに約5倍に増加(平成18年⇒平成20年)
- 平成28年末までに、69(7公営交通局を含む)のバス事業者とともに、全国40都市に1,972基を整備予定

● 広告付きバス停留所上屋の現状と課題

● 公租公課の負担

- 約1,750基に対して、年間の道路占用料は約5,500万円
- 第一級地の例： 広告塔単価19,000円／㎡×減免率30%×表示面2㎡×表裏2面＝53,200円／基
- 公益に資する広告塔とその他の差別化

● 最新技術の導入(広告面のデジタル化)

- 広告面に、ポスター掲出機器ではなく、同じサイズのデジタルディスプレイを搭載し、広告を掲出
- 収入増が見込まれ、事業収支の安定化やさらなる増設が期待可能
- また、表示面を遠隔操作することができるため、場所や期間を限定して掲出内容を変更可能
- 国賓来日時に、国旗を掲揚したり、災害発生等の緊急時にいち早く情報を提供することが可能



海外導入事例

イギリス、ロンドン市他

アメリカ、ニューヨーク市



合成写真イメージ